

## 調査概要

調査期間：平成27年9月24日(木)～9月30日(水)

調査方法：調査対象者に質問紙を配付し、記入後回収した。

調査対象：本学在学生

調査内容：1. 個人生活について 2. 学内生活について  
3. 課外活動について 4. 本学全般について

有効回答者数：1,647名

回答者内訳

### ●性別(設問1)

	男子学生	女子学生
人数(%)	797名(48.3%)	850名(51.5%)

### ●学年(設問2)

	1年生	2年生	3年生	長期履修3年生	4年生
人数(%)	547名(33.2%)	463名(28.1%)	353名(21.4%)	18名(1.1%)	263名(15.9%)

	長期履修4年生
人数(%)	4名(0.2%)

### ●所属学科(設問3)

	大学院		
研究科	人間福祉学研究科	生涯学習学研究科	生涯スポーツ学研究科
人数(%)	31名(1.9%)	7名(0.4%)	33名(2.0%)

	人間福祉学部		
学科	地域福祉学科	医療福祉学科	福祉心理学科
人数(%)	54名(3.3%)	13名(0.8%)	82名(5.0%)

	生涯学習システム学部		
学科	健康プランニング学科	芸術メディア学科	学習コーチング学科
人数(%)	6名(0.4%)	64名(3.9%)	103名(6.2%)

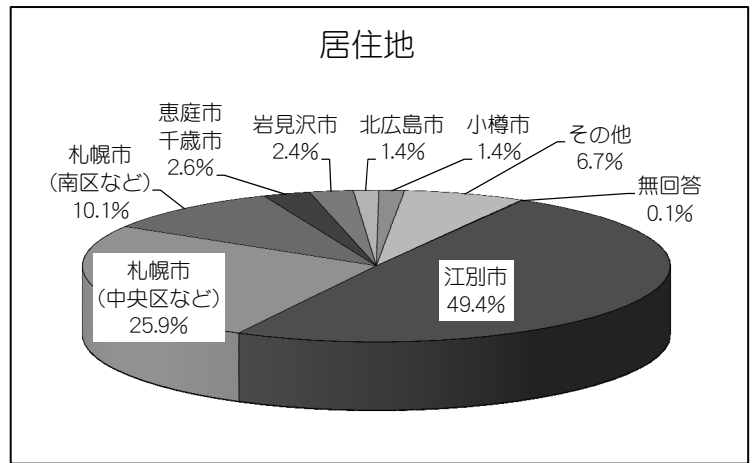
	生涯スポーツ学部	
学科	スポーツ教育学科	健康福祉学科
人数(%)	589名(35.7%)	75名(4.5%)

	教育分化学部				
学科	教育学科	芸術学科	心理カウンセリング学科	ライフデザイン学科	こども学科
人数(%)	178名(10.8%)	50名(3.0%)	70名(4.2%)	47名(2.9%)	247名(15.0%)

## 1. 生活について

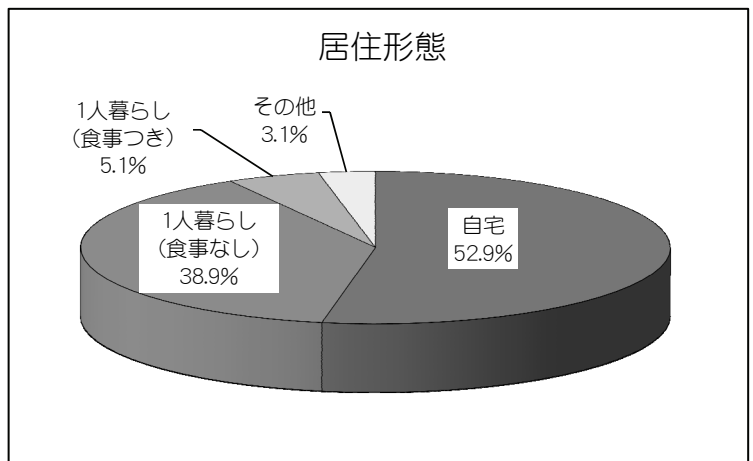
### 1-1-1. 居住地について(設問4)

調査時点での居住地については、「江別市」が最も多く49.4%であった。次いで「札幌市(中央区・東区・北区・白石区・厚別区・清田区)」が25.9%、「札幌市(南区・西区・手稲区)」10.1%となっている。



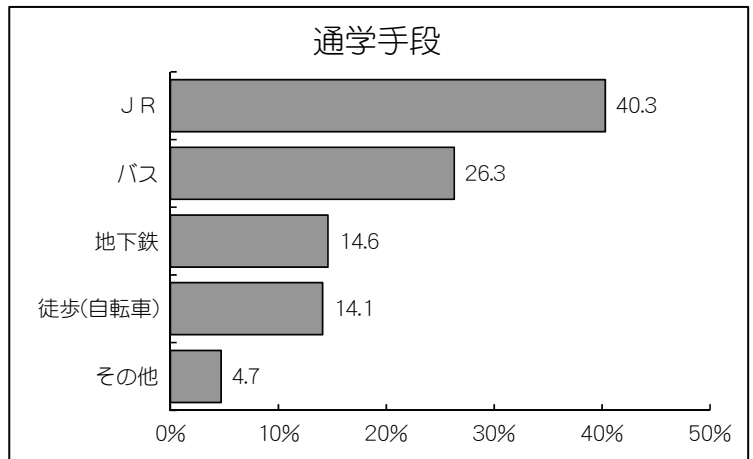
### 1-1-2. 居住形態について(設問5)

居住形態については「自宅」が52.9%と半数を占めた。自宅外では「1人暮らし(食事なし)」が38.9%であった。



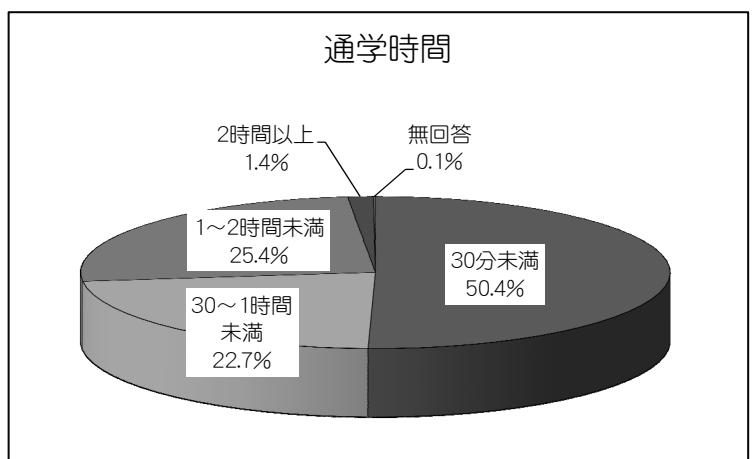
### 1-1-3. 通学手段について(設問6)

公共交通機関の利用については「JR」40.3%、「バス」26.3%、「地下鉄」(14.6)%となっている。



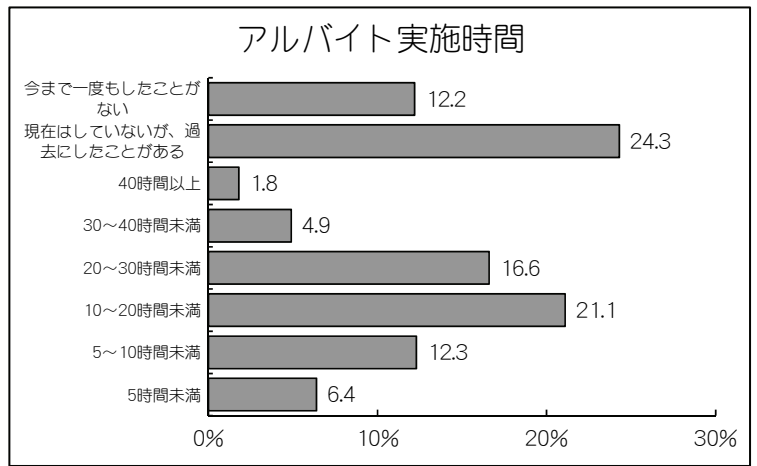
### 1-1-4. 通学時間について(設問7)

通学にかかる時間は「30分未満」が50.4%であった。次いで「1~2時間未満」が25.4%、「30分~1時間未満」が22.7%となっている。



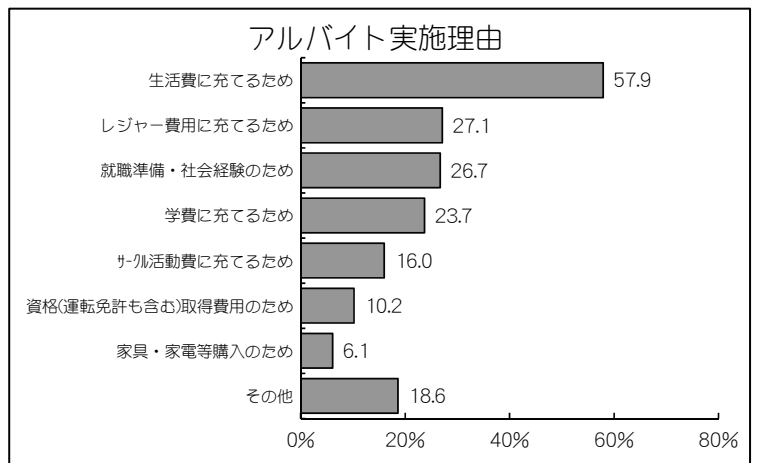
### 1-2-1. アルバイトについて(設問12)

調査時点でアルバイトをしている学生は63.1%であった。アルバイト時間については、「10～20時間未満」が21.1%と最も多く、次いで「20～30時間未満」が16.6%、「5～10時間未満」が12.3%であった。また、「40時間以上」という学生も1.8%(30名)いた。



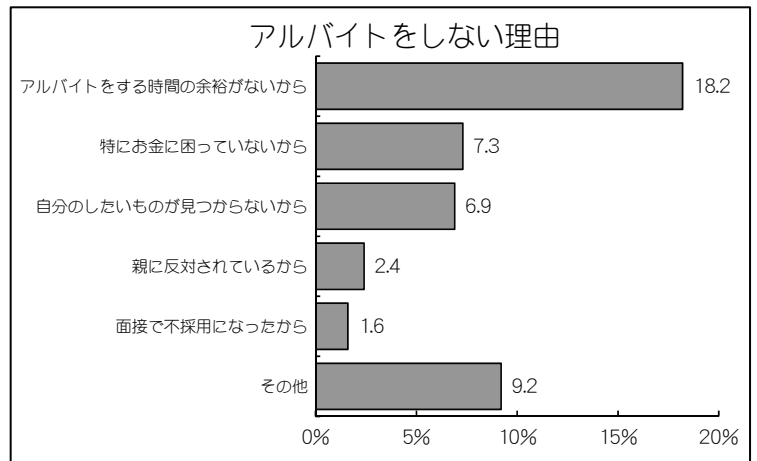
### 1-2-2. アルバイト実施理由(複数回答)(設問13)

アルバイト経験のある学生1441名の実施理由は、「生活費に充てるため」が57.9%、「レジャー費用に充てるため」27.1%、「就職準備、社会経験のため」26.7%であった。



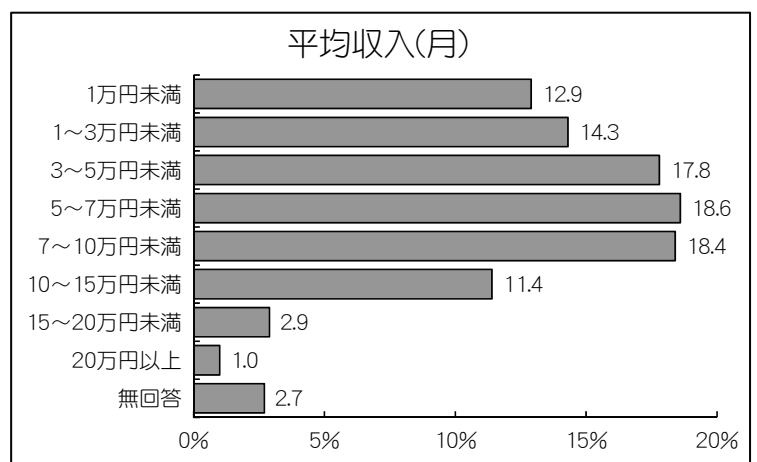
### 1-2-3. アルバイトをしない理由(複数回答)(設問14)

アルバイト経験のない学生201名の理由としては、「アルバイトをする時間の余裕がないから」が18.2%で最も多く、続いて「特にお金に困っていないから」7.3%、「自分のしたいものが見つからないから」6.9%となっている。



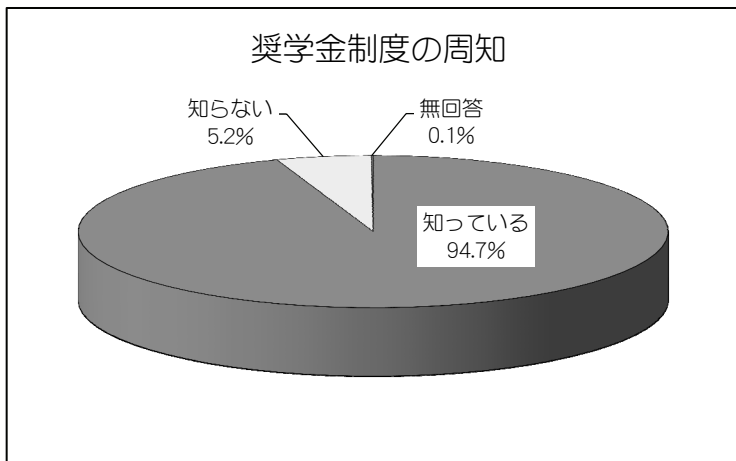
### 1-2-4. 平均収入について(設問15)

仕送り金、奨学金、アルバイト等から得る一ヶ月あたりの平均収入は、「5～7万円未満」が18.6%、「7～10万円未満」が18.4%、「3～5万円未満」が17.8%であった。



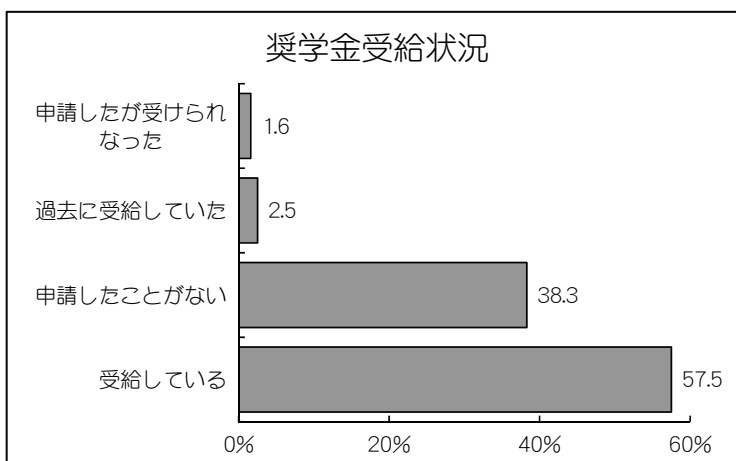
1-3-1. 奨学金制度の周知について(設問10)

学内および学外の奨学金制度については、94.7%の学生が「知っている」と回答があり、周知はされていることが分かった。



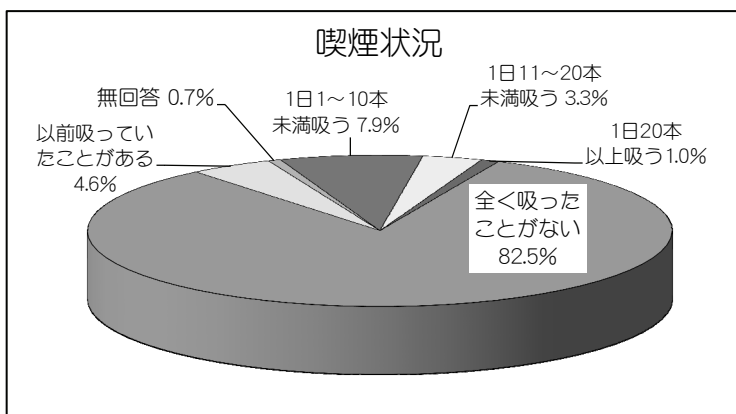
1-3-2. 奨学金受給状況について(設問11)

調査時点で何らかの奨学金を受給している学生は57.5%で、全学生数の半数を超えていた。



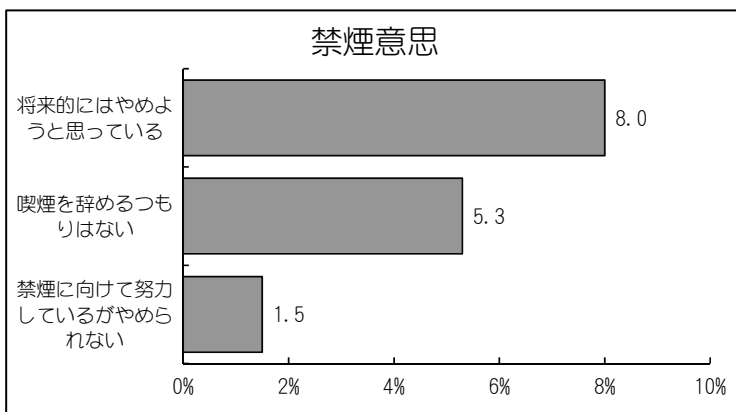
1-4-1. 喫煙状況について(設問16)

喫煙状況については、現在喫煙している学生は12.2%であった。



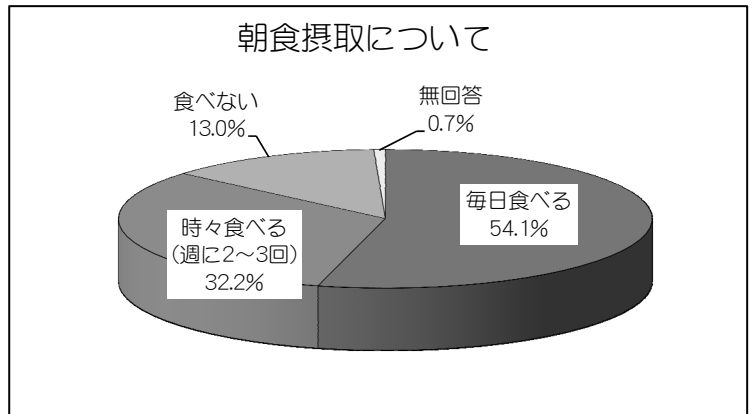
1-4-2. 禁煙意思について(設問17)

喫煙している学生の禁煙の意思については、「将来的にはやめようと思っている」8.0%、「喫煙を辞めるつもりはない」5.3%、「禁煙に向けて努力しているがやめられない」1.5%、という結果となった。



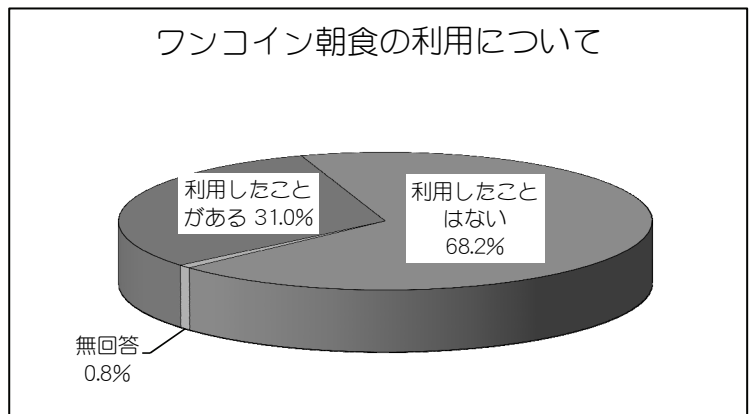
### 1-5-1. 朝食摂取について(設問28)

朝食摂取の習慣について、「毎日食べる」「時々食べる(週に2~3回)」を合わせると86.3%で、8割を超える学生が朝食を摂る習慣があることが分かった。



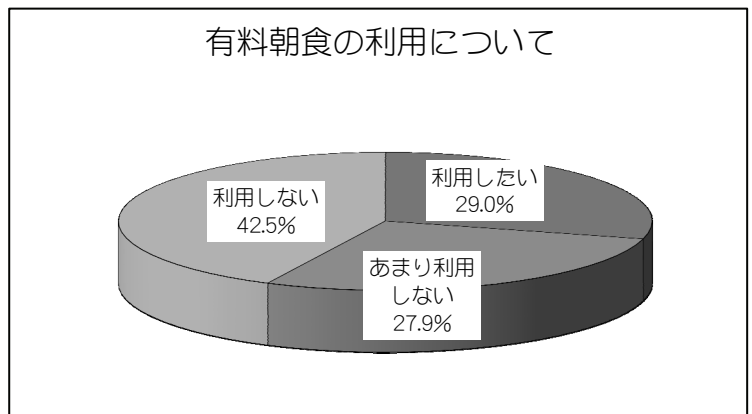
### 1-5-2. ワンコイン朝食の利用について(設問29)

ワンコイン朝食の企画を利用したことがある学生は31.0%であった。



### 1-5-3. 有料朝食の利用について(設問30)

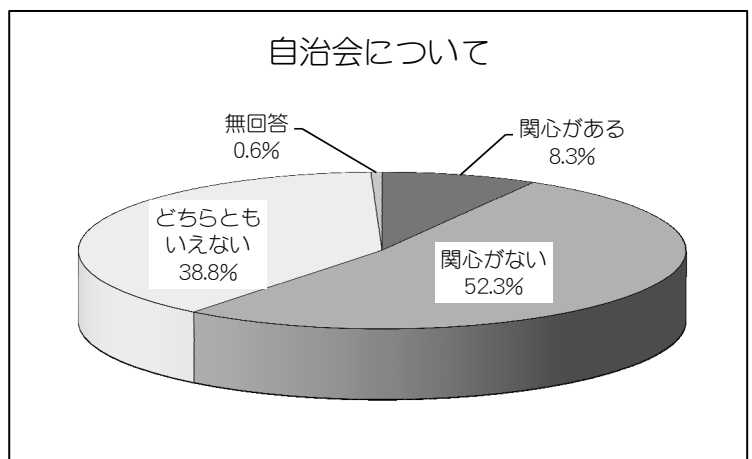
大学で朝食を有料で提供した場合、「あまり利用しない」「利用しない」は合わせて70.4%であり、需要はあまり多くない。



## 2. 学内生活について

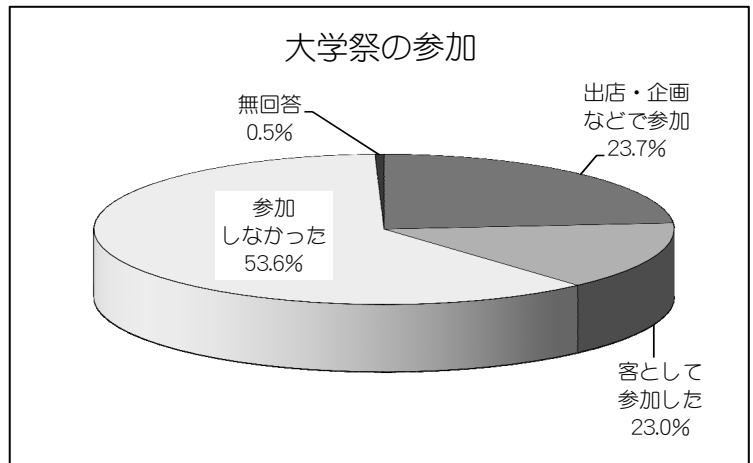
### 2-1-1. 自治会について(設問22)

自治会への興味・関心については、「ない」が52.3%という回答をしている。「ある」は8.3%で、自治会への関心が薄い結果となった。



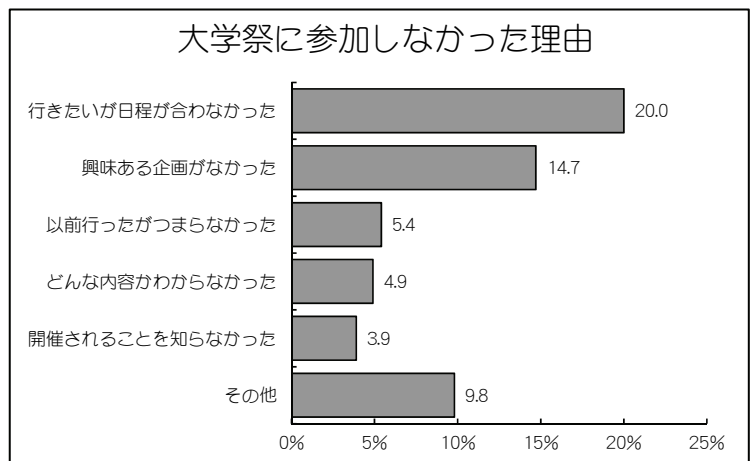
### 2-2-1. 大学祭の参加について(設問23)

大学祭の参加については、「参加しなかった」が61.1%で、全学生数の半数を超えていた。参加した学生は、「出店・企画などで参加した」23.7%、「客として参加した」14.7%という状況であった。



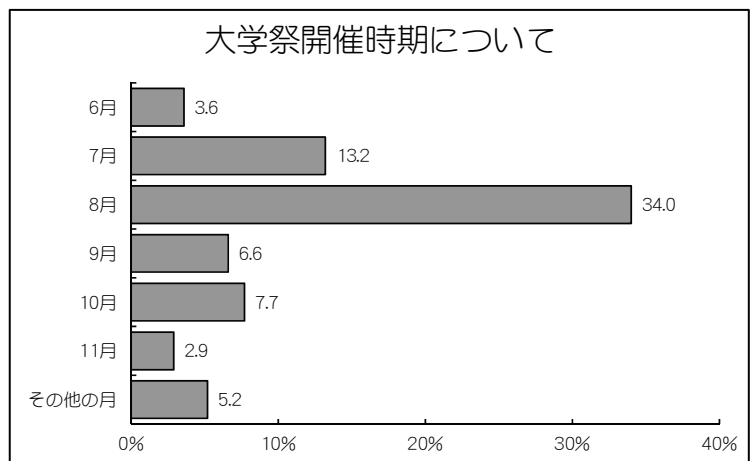
### 2-2-2. 大学祭に参加しなかった理由について(設問24)

大学祭に参加しなかった理由としては「行きたい日程が合わなかった」が20.0%、次いで「興味ある企画がなかった」14.7%、「以前行ったがつまらなかった」5.4%となった。



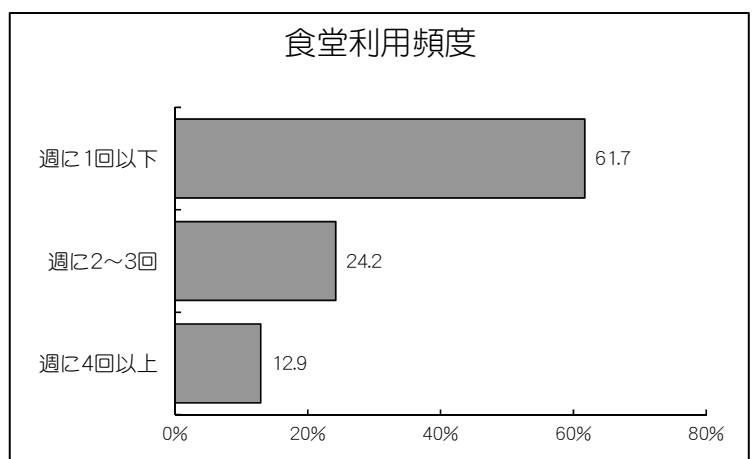
### 2-2-3. 大学祭の開催時期について(設問25)

大学祭の開催時期の希望については、「8月」が34.0%、「7月」が13.2%、「10月」が7.7%であった。



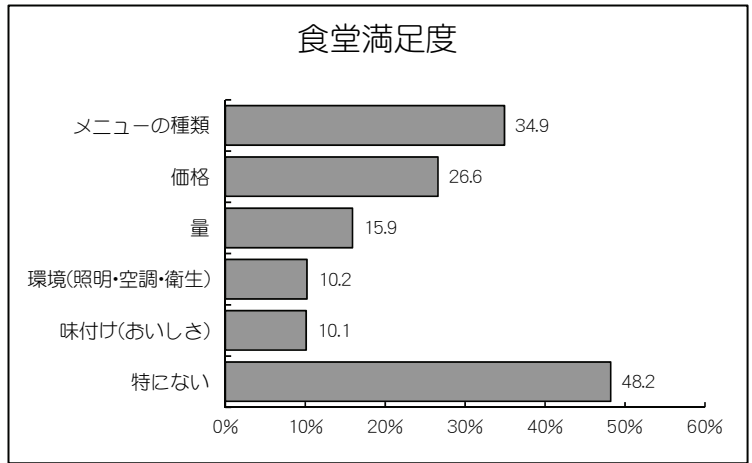
### 2-3-1. 食堂の利用頻度について(設問26)

食堂利用の頻度については、「週に1回以下」が61.7%、「週に2~3回」が24.2%で、定期的な利用は少ない状況にある。



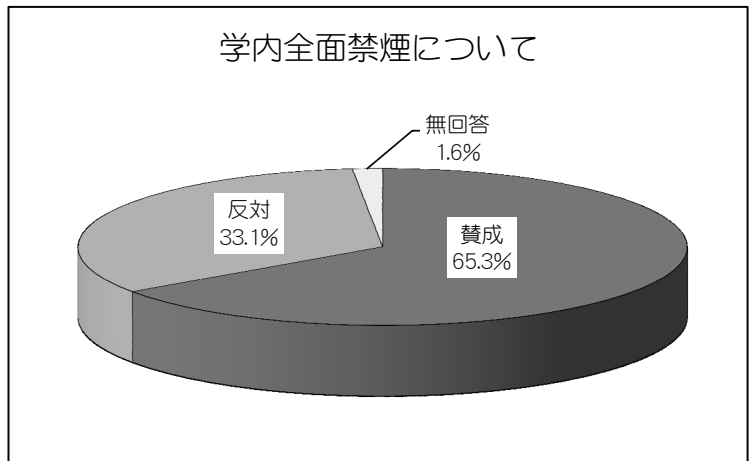
### 2-3-2. 食堂の満足度について(設問27)

食堂については「メニューの種類」34.9%と「価格」26.6%について不満があるとの回答があった。逆に「特にない」48.2%という回答も多かった。



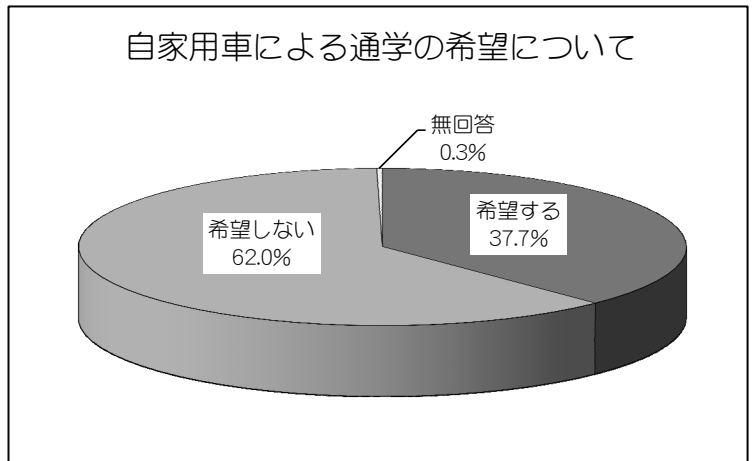
### 2-4. 学内全面禁煙について(設問18)

将来的にキャンパス内を全面禁煙にするとした場合、65.3%の学生が「賛成」という結果であった。



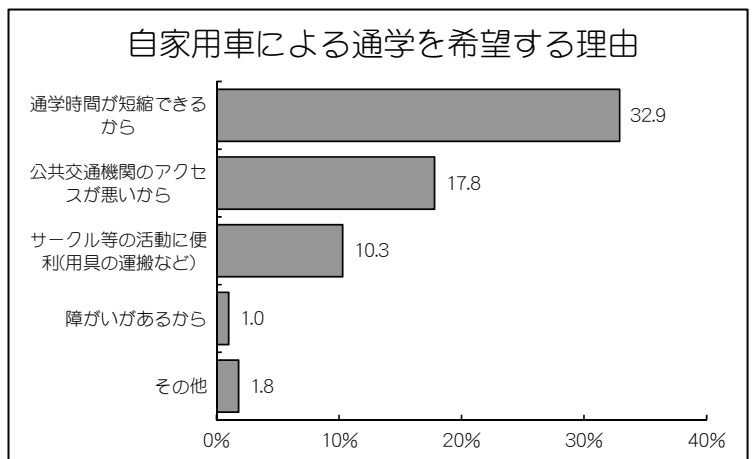
### 2-5-1. 自家用車による通学の希望について(設問8)

将来的に自家用車での通学を認めた場合、「希望しない」は62.0%で、現状での自家用車通学の希望の割合は低かった。



### 2-5-2. 自家用車による通学を希望する理由について(設問9)

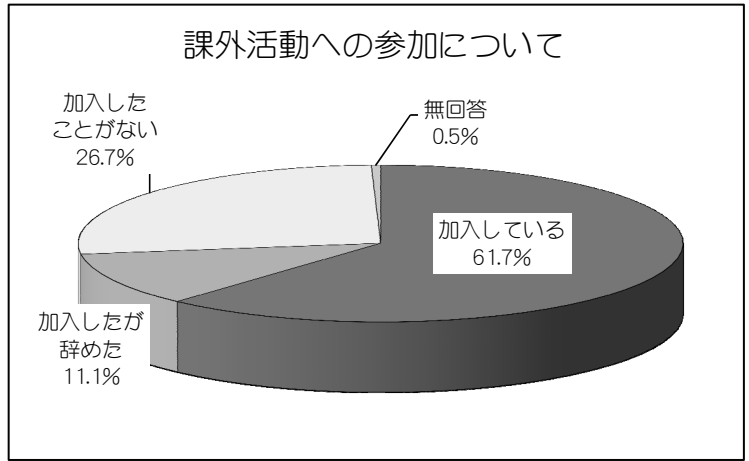
希望する」と回答した学生にその理由を尋ねると、「通学時間が短縮できるから」が32.9%で最も多く、次いで「公共交通機関のアクセスが悪いから」17.8%、「サークル等の活動に便利(用具の運搬など)10.3%となった。



### 3. 課外活動について

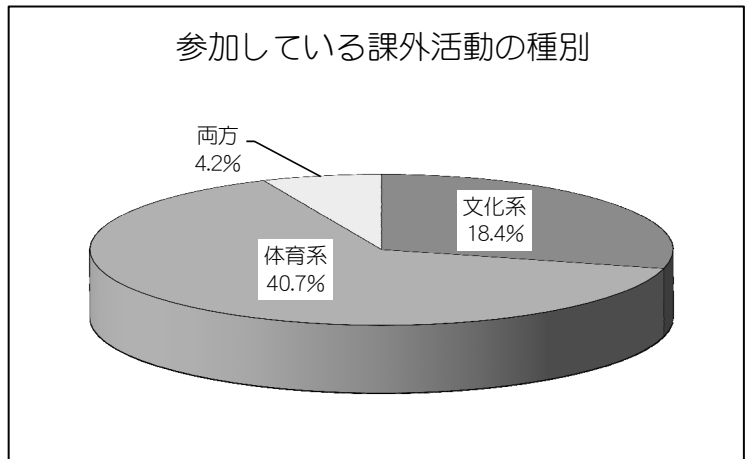
#### 3-1-1. 課外活動への参加について(設問19)

調査時点でサークル等の課外活動へ参加している学生は61.7%で、全学生の6割を超える割合であった。



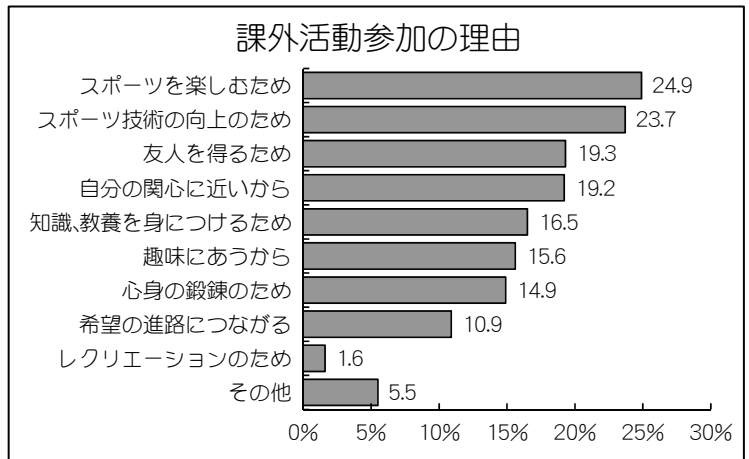
#### 3-1-2. 参加している課外活動の種別について(設問20)

参加している課外活動が体育系である学生は40.7%、文科系である学生は18.4%であった。



#### 3-1-3. 課外活動の参加理由について(複数選択)(設問21)

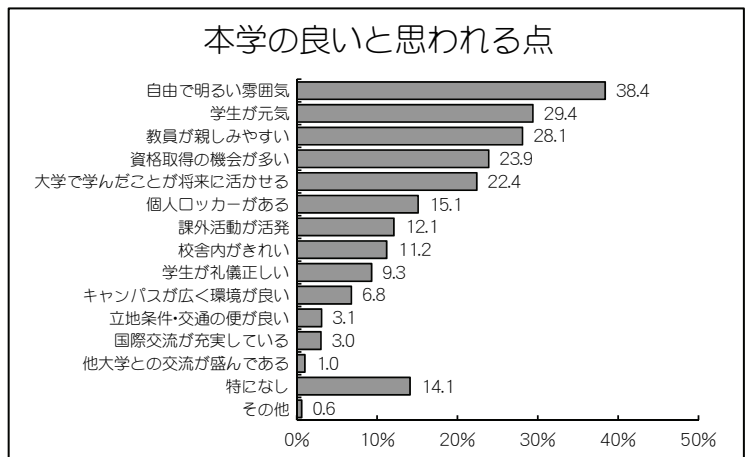
学生が課外活動に参加する動機として、「スポーツを楽しむため」「スポーツ技術の向上のため」が合わせて48.6%と高かった。また「友人を得るため」19.3%、「自分の関心に近いから」19.2%、「知識、教養を身につけるため」16.5%という理由も挙げられていた。



### 4. 本学全般について

#### 4-1-1. 本学の良いと思われる点について(複数回答)(設問31)

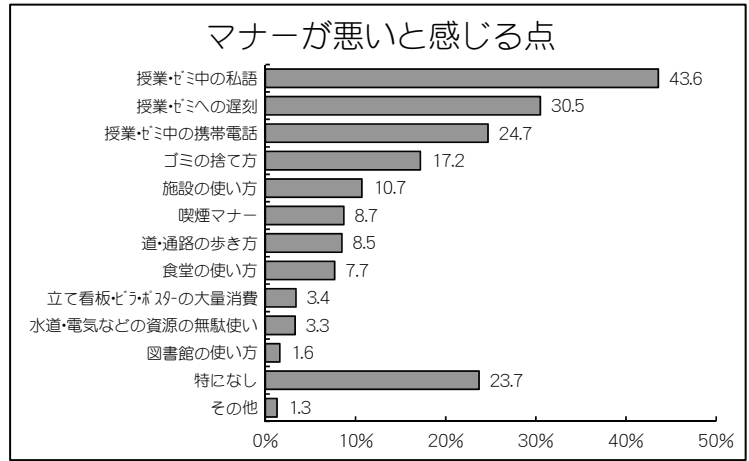
本学の良いと思われる点について、「自由で明るい雰囲気」(38.4%)が最も高く、次いで「学生が元気」(29.4%)、「教員が親しみやすい」(28.1%)、「資格取得の機会が多い」(23.9%)、「大学で学んだことが将来に活かせる」(22.4%)となっている。逆に、「他大学との交流が盛んである」(1.0%)、「国際交流が充実している」(3.0%)、「立地条件・交通の便が良い」(3.1%)の項目は低かった。





4-1-2. 学生の学内のマナーについて(複数回答)(設問32)

学内の学生マナーについて悪いと感じる項目については、「授業・ゼミ中の私語」(43.6%)が最も高く、「授業・ゼミへの遅刻」(30.5%)、「授業・ゼミ中の携帯電話」(24.7%)と続いている。「図書館の使い方」(1.6%)、「水道・電気などの資源の無駄使い」(3.3%)、「立て看板・ビラ・ポスターの大量消費」(3.4%)の項目は低い数値となった。



4-2. 本学施設・設備について(複数回答)(設問33)

学内設備・施設への改善・充実については、「食堂・購買」(37.8%)、「教室や実習・演習室」(25.8%)、「休憩場所」(24.7%)の順で要望が高かった。

